

問 鹿角アメニティパークの施設を「多目的人工芝グラウンド」にできないか。

答 旧学校施設であり、外構に十分なスペースが確保できないことや人工芝の張替などのコストが高額なことから、転換は難しい。



鹿角高校への支援策について

問 2024年出生数が70人を切ったが、今後の鹿角高校の生徒数の推移をどのように捉えているか。

答 令和22年度の生徒数は約250人規模、現在の半数程度の見込みであり、学校運営や教育環境の維持が非常に厳しい状況が予測される。

問 市外出身生徒の受入支援と市内在住生徒への支援策は。

答 令和8年度から「鹿角高校魅力化

構想」の策定に着手し、魅力ある高校づくりを進める。先行的な取り組みとしてスキー部と陸上競技部生徒の下宿等の費用補助の拡充を検討している。

問 基本構想案にある「魅力ある学びの場づくり」の具体策は。

答 どのような力を身につけていくのか、将来ビジョンを明確にし、行政・学校・市民など多様な主体の意見を取り込み、鹿角高校の魅力化に向けた基本方針を策定し、具体策は鹿角高校魅力化推進計画に位置付けて取り組みを進めたい。

質問した項目

- 鹿角高校への支援策について
- 鹿角アメニティパークの施設整備について
- 子供の遊び場の充実について
- 4つの世界級遺産について
- 鹿角市定期市場の活性化について
- ほか



録画配信はこちらから

中山 一男 議員 (鹿真会・公明)
質問時間 60分

問 「魅力ある鹿角の情報発信に関する提案書」についてどのような評価をしているか伺う。

答 改善策の提案に感謝するとともに、今後の取り組みを進める上で参考となる提案であると評価している。



有害鳥獣対策について

問 熊対策の予算規模と不足部分について伺う。

答 有害鳥獣の捕獲等、緩衝帯整備、誘引樹木伐採補助、電気柵設置等の補助に計4310万2千円を予算計上している。鳥獣被害対策実施隊に係る経費に不足が生じる可能性もあるが、補正予算で対応していく。

問 熊対策に特化したふるさと納税に対する評価と実施の考えを伺う。

答 ふるさと納税寄附金を「ふるさと鹿角応援基金」に積み立て、総合計画に沿って活用しており、有害鳥獣対策はその対象事業である。さらに返礼品なしの寄附募集をしており、熊対策に特化した寄附募集も準備が整った次第、開始する。

問 メディアによる過剰報道等の情報発信の在り方の認識を伺う。

答 今年度は熊の出没が多くなり注意喚起を実施した。観光客は増加傾向で熊によるキャンセルは少ない状況である。風評被害を防ぐため、対策周知と情報発信を強化し、来年も観光事業者と連携して安全確保に努める。



録画配信はこちらから